

令和6年度の重点課題

○全身持久力を要する20mシャトルランが男女ともに県平均値及び全国平均値より低い結果となり、持久力に課題がある。特に男子は、その他の項目でも県平均値及び全国平均値を下回るものが多く、全体的に体力に課題がある。

○体力に自信のある生徒と、自信のない生徒の二極化の状態になっており、中間層が非常に少ない。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○体育では、ウォーミングアップにサーキットレーニングを取り入れ、心肺機能を高める動きを継続して行った。単元ごとの主運動につながる動きを行う中で、運動量の確保を重視して活動を計画した。

○校舎内に握力を鍛えるハンドグリップを置き、生徒が自由に使える場所を数か所設置するなど、体育や部活動以外の場面でも体力を向上させる仕組みを作った。

○体力差や体格差、技能差を補い、全員が積極的に取り組めるよう、ゲームのルールを工夫し取り組ませた。

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	26.92	26.46	44.15	52.00	67.15		8.19	185.38	20.31	38.62	第2学年	24.64	23.36	48.18	49.73	48.45		8.80	180.64	13.45	51.64

県平均値かつ全国平均値未滿

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	26.92	26.46	44.15	52.00	67.15		8.19	185.38	20.31	38.62	第2学年	24.64	23.36	48.18	49.73	48.45		8.80	180.64	13.45	51.64

県平均値かつ全国平均値未滿

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	69.23	15.38	0.00	15.38	第2学年	27.27	45.45	27.27	0.00

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	64.71	29.41	0.00	5.88	第3学年	75.00	12.50	6.25	6.25
女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	50.00	25.00	25.00	0.00	第3学年	50.00	33.33	8.33	8.33

重点課題

情意面での課題

- 運動やスポーツに対して肯定的である生徒は、男子は学年を問わず80%を超えている。女子も肯定的である生徒は比較的多いが、1学年の女子は25%が「やや嫌い」と答えている。
- 否定的な回答の生徒も2割程度いるものの、体育は、男女問わず意欲的に取り組む生徒は多い。

体力面での課題

- 1、2学年の男子は、体力の項目のほとんどで県平均値及び全国平均値より低い結果となっている。
- 女子は全身持久力に課題がある。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 運動量を確保し、心肺機能を高める動きを積極的に取り入れる。また、積極的な参加を促すために、ゲーム性のある活動や各単元の主運動につながる活動を実施する。
- タイムや得点など、目に見える結果も重視させ、「伸び」や「達成感」を感じさせ意欲を高める。
- 全員が積極的に取り組めるよう、ゲームのルールを工夫する。

体育の授業以外で行う取組内容

- 運動会などの学校行事、地域の駅伝大会などに積極的に参加し、行事やイベントに合わせて重点的に運動に取り組ませ、体力向上を目指す。
- 部活動とも連携し、各部活動の練習の中で継続して体力つくり活動を行っていく。特に「全身持久力」「スピード」を向上させるため、ランニングだけでなく、スプリントの動きも取り入れる。

令和8年度の重点目標値

- 体力の項目「持久力」「スピード」で、得点がどちらも5点以上の生徒の割合70%以上を目指す。
- 結果の「伸び」から「達成感」を感じさせ、生徒の運動への意欲を向上させる。
- 運動やスポーツをするだけでなく、仲間を見る・支えるなどの視点からも運動に親しめるようにする。